

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。
お問い合わせは 75-1772.

記号の説明:
①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」
(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

昆虫もたくさん載っています

茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店
茅野市北山 カフェ 午後の森
《問合せ》 NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

コロコロ変わる天気予報 (悦)
前日まで天気予報がコロコロ変わるので、雨天の座学の手当てをしたり、一喜一憂して過ごし、ダメかと思っただけの朝、晴れました。矢張り日頃の心掛け。コースは、第一駐車場→頂上→中央コース→池→南コース→第一駐車場でした。午前中、頂上までは好天でしたが、昼食をとって、中央コースの途中で急に雨が降り出し、ポコポコ発生しているハナイグチも採らずに池の四阿に駆け込みました。四阿で雨宿りをし、30分ぐらいすると雨も上がったので、無事に第一駐車場に予定通り3時に到着しました。日頃の心がけの成果は午前中まででした。



ガマズミ



コバノガマズミ

ひっつき虫を探そう！(動物散布) (悦)
森には、タネを動物に運んでもらおうと、手ぐすね引いて待っている植物がいます。



チヂミザサ
粘々の毛でくっつく。



ヌスビトハギ
タネの表面は面ファスナー。フックでくっつく。

風に乗るタネを探そう！(風散布) (悦)
タネを風で散布する植物は、どんな工夫をしているでしょう



イケマ
長い絹毛をつけふわり、ふわり飛びます。



アカマツ
薄い翼をつけ高速回転して飛びます。

あおぞらも、雨も、悪くない (黒)
●雨が続きした後でしたが、気持ちよく散策できた観察会でした。出発してじきに、隣を歩いている人の上着になにやらかわいい虫。これは、コナラシギゾウムシでしょうか？ゾウさんのように長い鼻、かわいいクリクリの目玉のようなもの。愛くるしいですね。



●頂上広場でお昼を食べる時は青空！ 久しぶりのピカピカの青空の下、のんびり、ゆっくりご飯を食べました。見れば、青いきれいな花、秋の花リンドウ。広場のあちこちに。いつも、この青さに心洗われる気がします。そして、なにやらかわいらしいピンクの花のようなもの。いやいや、これは種？ さて何の種？ ヒメハギの種でした。いつも見ている場所から随分離れているので、どうやってここまで旅してきたのか、とびっくり。




●そして、頂上から池までの道は、ジゴボウの豊作状態。いつもびくを持ってくる彼女がいないのはなんという不幸か。お昼を食べて満腹のはずなのに、みんな欲張ってせっせと袋に詰め込み。満腹の後は満足でみんな笑顔になって池に向かったら、雨！ 池のそばのあずまやで休憩。あおぞらも、雨も、悪くなかったね。

秋の森を満喫！ (洋)
●たくさんの実や種を観察しました。サワフタギの青黒い実が印象に残った。
●シロヨメナやノコンギクなどキク科の花を比べて観察でき、興味深かった。
●頂上に咲いていたリンドウの青色が脳裏に残る。春に咲くのはフデリンドウで、今咲いているのは秋のリンドウとのこと。どちらもいつまでも絶えずに咲いてほしいと思います。


- 10月観察した花** (悦)
- ✿ ミゾソバ①104
 - ✿ アキノナギツカミ①104
 - ✿ ミズヒキ①103
 - ✿ イヌタデ①103
 - ✿ ツリフネソウ①113
 - ✿ リンドウ①112
 - ✿ ノコンギク①110
 - ✿ ツクバトリカブト①113
 - ✿ シロヨメナ②97
 - ✿ ユウガギク①110
 - ✿ アケボノソウ①111
 - ✿ ゲンノショウコ①100
 - ✿ ギンジョウソウモドキ
- 10月観察した果実**
- ✿ ツノハシバミ①67
 - ✿ オニルリソウ①91
 - ✿ アブラチャン①66
 - ✿ ダンコウバイ①66
 - ✿ ウリカエデ①68
 - ✿ ウリハダカエデ①68
 - ✿ カラコギカエデ①132
 - ✿ ガマズミ①83
 - ✿ コバノガマズミ①76
 - ✿ オトコヨウゾメ①76
 - ✿ ウツギ①88
 - ✿ サワフタギ①74
 - ✿ アオハダ①129
 - ✿ クサギ①100
 - ✿ エゴノキ①84

- 10月観察したムシ達** (馬)
<蝶>
● アイノミドリシジミ ♀ B 型
- 
- ミドリシジミの卵 (ハンノキ枝上)
- 
- ルリタテハ②112
- 
- キタテハ②113
<その他の昆虫>
● ムシヒキアブの仲間 (マントヒビみたいなヤツ)
● アカスジキンカメムシ②130
- 

螺旋のタネ (悦)
下見で出会ったつる植物、アオツツラフジかな？



実を剥いてみたら、アンモナイトの形状。アオツツラフジのようですね。



雨の中の拾い物 (悦)
小走りに池に向かう途中、赤い傘が目につき、掘り出し絵見るとこんな立派なタマゴタケでした。白い卵もありましたが、毒きのこのようです。



10月10日稀有な観察会 (矢)

午前中、大勢の参加者が三々五々山頂への道を賑やかに観察。
午後からは、少人数で其処此処に顔を出したジコボウを採りながら中央コースを下る。
途中、驟雨や雨上がりの青空に翻弄されながらの観察。
こんな変化に富んだ月例観察会はあまり記憶がありません。そして、人の優しさが身に染みる観察会でした。



次の生の始まり (山)

●春の芽吹き、初夏の木々の花、たわわについた木々の実の秋、そして今回は実がはじけて次の生の始まり…。

あぶらちゃんの移り変わりを観察することができました。可愛らしい名前にとっても愛着がわいて今回も出会うことができうれしかったです。

●散策しながら採ったじこぼう・りこぼう(正式にはハナイグチ)になすとかぼちゃを入れた夕食のキノコ汁はとても懐かしいお味でした。



知る喜び (新)

●無駄のない戦略合戦の秋はすごい市民の森の草木たちは、未来に向かって準備を着々と進めていました。

寒くなって来てのお楽しみは紅葉ですが、なんと紅葉せずに緑を残したまま落葉する木があると聞き驚きました。その名はハンノキ(樺の木)。ハンノキは根粒菌と共生しているため葉の葉緑素を回収する必要があるため、緑色のまま落葉するそうです。そして、葉緑素のある葉は土手や畦の栄養分になるため、人は田んぼのハゼかけ用の木としてハンノキを用いたそうです。無駄がない！(写真はハンノキの仲間のヤシャブシ)

●今回の観察会で可憐なお花と会いました。アケボノソウです。お花の大きさは親指の爪の大きさくらいです。形・色・模様どうしたらこんなに素敵になるんでしょう。花びらの斑点が夜明けの星に見えるところからアケボノソウと名付けられたそうです。ロマンチック。



今年お初のトリカブトフクシアブラムシ！ (矢)

2013年市道の水車小屋分岐付近で、(悦)さんが見つけたエメラルドグリーン美しいアブラムシ。



観察を続け、非常に複雑な生態や興亡(観察地点における)を知ることができました。今年はまだ会えていなかったのですが、今回山頂近くの市道脇で会うことができました。

10月のキク科 勢揃い (悦)



ユウガギク(柚香菊)



ノコンギク(野紺菊)



シロヨメナ(白嫁菜)



リュウノギク(竜腦菊)

秋の風景 (桂)

●沢沿いのシロヨメナを教えてくださいました。家のそばの林にキノコ採りに入ったら見つけたシロヨメナ！日陰が好きなのですね。



●今にも落ちそうなアブラチャンの実！秋ですね。



●そしてアブラチャンの葉の上で日向ぼっこするチャイロオオイシアブ！カッコイイというか、虫を捕って食べるためにこんな頑丈な脚があるそうです。

オオイシアブと迷ったのですが、林の中だったのでチャイロオオイシアブにした。

秋の装いになりました (口)

●種、花、蕾も紫色

山頂広場は桜の木もすっかり紅葉していつの間にか秋の装いに、枯草も多くなりチカラシバの種、セイヨウウツボグサの花、リンドウの花、広場には紫色がチラホラと見えます。



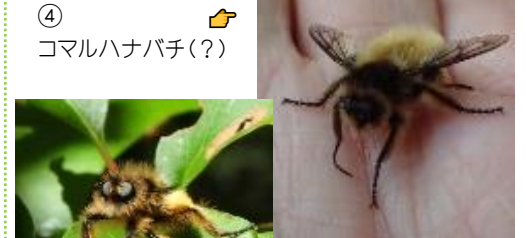
●種たちは

ギンリョウソウモドキは結実して上を向きに、スミレの種は三方に弾け種を手放したようです。

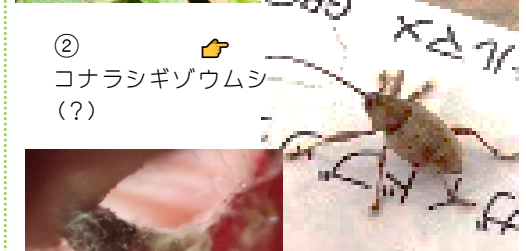


教えて皆さん！ (矢)

10月の月例観察会、久々に可愛い虫たちと会え、大興奮！ただ、名前が判然としない子がいます。皆さんのご協力を。



④ コマルハナバチ(?)
③ 上と同種？(猿のような顔のハチ)



② コナラシギゾウムシ(?)
① キジラミの仲間(?)コバノガマズミの綿々関係あるのか？

落ち葉で存在を知る (悦)

5枚の小葉の掌状複葉で色が抜けた感じ

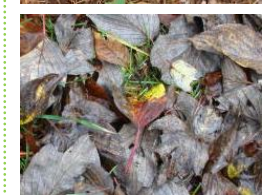


コシアブラ



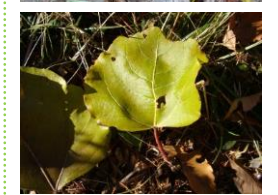
カエデのような姿で径10 - 25 cmと大きい

ハリギリ



落ち葉が黒変 柄は赤いことが多い

ミズキ



シラカバの葉に似ているが、葉柄が扁平！

ヤマナラシ

チヂミザサの戦略に参った！ (直)

家に帰って足元を見ると、靴にもズボンの裾にもびっしりチヂミザサの花(タネ?)が！
気をつけていたつもりが知らぬ間にやられました！一つ一つ取ろうとしても、粘りがあって指もベタベタ。ガムテープの力を借りて一掃したつもりでニヤリとしましたが、庭に散らかっているタネを見つけ、チヂミザサの戦略に参りましたという気持ちになりました。

